

セネガル通信

～日常や活動を岡山県の皆さんにお届けします～

JICA海外協力隊
2025-1次隊
小学校教育
長尾有花
2026/01/19

自己紹介



はじめまして！県内で教員をしている長尾有花です。現職教員参加制度を利用し、JICA海外協力隊としてアフリカ大陸の最西端にあるセネガルに派遣されています。

派遣期間は2025年7月～2027年3月です。活動内容としては、セネガルのカオラック市にある日本でいう教育委員会に所属し、市の小学校を巡回します。現地の先生と一緒に主に算数の授業を改善します。

このセネガル通信を通して県民のみなさんにセネガルや私の活動について発信していきたいと思います。

なぜJICA海外協力隊？

大学時代、カンボジアで体育を教える活動をした際に、情操教育を十分に学ぶ機会のない子どもたちを目の当たりにし、自分にできることはないかと考えるようになりました。「いつか自分も世界の誰かの役に立ちたい」と、国際協力に興味をもちました。

セネガルを選んだ理由は、アフリカでの教育の現状を知りたかったからです。海外旅行に行くのが好きで、色々な国へ行きましたが、アフリカ＝未知の国というイメージがありました。テレビやSNSで得ただけのアフリカに対するイメージではなく、「実際に自分の目で見てみたい」、「共に現地の方と生活することで現地のリアルを知りたい」と思ったからです。

また、派遣中や帰国後に、日本の子どもたちに私が経験したことや見たこと、感じたことを伝えることで多様な視点を持ち、世界に興味をもってほしいなと思ったからです。



72日間の派遣前訓練



JICA海外協力隊に合格すると、すぐに任国に行くのではなく、長野県駒ケ根市か福島県二本松市で「派遣前訓練」が行われます。私は駒ケ根市でした。

年齢も職種も派遣国もバラバラな198人が集まった72日間の訓練期間は、毎日が濃く、充実した時間でした。

多くの時間は語学に当てられ、一からフランス語を学びました。英語も十分に話せない私がフランス語を習得できるのか、とても不安でしたが、少人数クラスなので先生のサポートが手厚く受けられます。

他にも、海外における安全対策や異文化に関する授業などがありました。ちなみに毎週火曜日は予防接種の日です。セネガルに行くために合計13本の注射を打ちました。(..)

ここで出会った人たちは、訓練を終えた今でも連絡を取り合い、お互い励まし合っています。これからも繋がり続けたいと思えるような大切な仲間に出会うことができました。

セネガルについて



みなさんはセネガルと聞いて、どんな国かイメージできますか？私はJICA海外協力隊の募集要項を見て、初めてセネガルという国があることを知りました。

セネガルの形はライオンが口を開けた横顔に似ていると言われています。日本からは飛行機を乗り継ぎ、約30時間。時差は日本より－9時間です。

↓日本と比べて気付いたことはありますか？

面積：約196,712km²（日本の約半分）

人口：約1732万人（日本の約7分の1）

宗教：イスラム教が97%

言語：フランス語、ウォロフ語など

主食：米

次回、首都での語学訓練～任地配属についてお伝えします！